



行事を通して身につける力

校長 朝川 健太郎

初夏の日差しを受けて、木々の葉の濃い緑色が輝いて見える季節になりました。学習で植えた植物の成長を観察、見守りながら毎朝水やりを欠かさない子どもたちの姿が見られます。花壇の草むしりを一生懸命行う1年生の姿もありました。植物が成長している様子を見るたび夏が近づいていることを実感します。

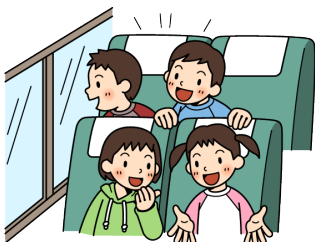


5月には、6年生が国会議事堂を見学し、国会議員の話に真剣に耳を傾ける様子も見られました。5年生は足柄体験学習で野外炊事やキャンプファイヤーを行い自然を満喫しました。6月には4年生の愛川体験学習、7月には6年生の日光修学旅行が予定されています。2年生や3年生の遠足も計画され、当たり前のように校外学習が行えることの喜びを実感しています。

遠足・集団宿泊的行事には、次のような資質・能力が育成できるとされています。

- 遠足・集団宿泊的行事の意義や校外における集団生活の在り方、公衆道徳などについて理解し、必要な行動の仕方を身に付けるようにする。
- 平素とは異なる生活環境の中での集団生活の在り方やよりよい人間関係の形成について考え、自然や文化などに触れる体験において活用したり応用したりすることができるようにする。
- 日常とは異なる環境や集団生活において、自然や文化などに関心を持ち、積極的に取り組もうとする態度を養う。

子どもたちを取り巻く環境は、成長するにしたがって家庭や学校という限られた社会から多様な人々と関わり合う広い社会へと変わっていきます。家庭や学校だけの人間関係ではなく、地域の方々と触れ合ったり、校外学習で様々な人々と接したりすることは、社会性をはぐくむ上でとても重要です。また、日頃触れることがない自然や文化に接することにより、新たな世界へと目を向けるきっかけとなるかもしれません。宿泊的行事では、集団生活における他者への気遣いを学んだり、自分で考えて行動する判断力や実践力を身につけたりすることもできます。このように、遠足・集団宿泊的行事を通して、多くのことを子どもたちは学んでいます。



今後も校外学習や宿泊体験学習など多くの体験ができるような学習活動を実施していこうと考えております。引き続き、本校の教育活動につきまして、ご理解とご協力をお願いいたします。